

若し EU の金融問題が解決できなければ、EU 各国が発行している国債の信用は低下して、国債の金利はかなり上昇し、その影響で市中金利も連動する可能性があります。

この市中金利の上昇は中小企業に大打撃を与え、急速な円高で借金返済が猶予されていた中小企業金融円滑法が来年 3 月で切れますと中小の飲食業、小売、卸売業の 10～20%の廃業、倒産へと追い込まれると日経ビジネス特集号が予想しております。この事とあえて書き加えたのは、現代どんなに優れたインターネットを駆使しても 100%確実な未来は望めません。想定外の地震、大津波、経済危機は全く予想できませんでした。原発問題で言われているように想定外の事をできるだけ想定内にして毎日の仕事をする事が大切だと思ったからです。今「かずさアクアシティ金田東」はアウトレット、ベイシア、カインズの進出成功に大歓声が沸いております。この予想以上の集客力に更に多くの企業、病院等の進出が予想されております。何か月か前に大手金融機関がこの地に着目してかなりの投資意欲を示していると書きましたが、投資効率は上々と聞いております。

木更津の魅力度は全国 197 位から 174 位へととなり、県内では浦安、銚子に次いで 3 番目となりました。木更津の友人たちの話ですと、アウトレットは店内観光客が多い割には、客単価は少し低い様です。フードコーナーの客が凡そ 40%、土日祝祭日はさばき切れず、瓜倉、江川、高柳、長須賀あたりへと回遊しているが、ほたる野、清見台はかなり客足が減っているようだ・・・居住区希望もほたる野から袖ヶ浦方面へとアウトレットへ近い所へと移りつつあるようですと不動産業の友人の話でした。

これらの大型店進出は、木更津を中心として 5 キロ圏内へ影響が表れ、地元の飲食業・小売業は苦戦を免れないでしょう。

君津のジョイフル本田の食品売り場もスケール、レイアウトの鮮やかさを見るだけで衝動買いさせる商品イメージを作っており、大型小売業の凄さを感じさせられました。

私はこの F A X 通信のごく最初の頃に「これからの小売業が生き残るためには、メーカーが作ったものだけ売るスーパー方式はダメです。自分たちの周囲で生産されたもの、それを加工したものを売るストアー方式に変えて下さい。」と書いたことがあります。私達のこの地域は全国に稀に見る交流人口の多い所です。

今年はアウトレット集客も数えますと 4 市には 2 千万人の人が訪れます。

素人農家の方達が直売所で立派に成果を上げておられます。

私達商人はプロであります。共同して商人直売所を作ってください。前例の無い発想を描いて下さい。

毎月第 4 土曜日、久留里の楽市楽座が頑張っています。毎月一度は必ず開く市です。君津でも成功させてください。2 千万人の観光客をこの地に引き留めるために 4 市の商工会・商工会議所と懇親会を開いてみたいと思っています。

『商人の生き残る道は、前例の無い事に挑戦し、後継者を育て、人を集め、販路を拓げる事であります。』